

県下の交通事故

(平成6年11月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成5年		4,724件	84人	6,263人
平成6年		4,499件	106人	5,931人
比較		-4.8%	+26.2%	-5.3%



◇ 第106号 ◇
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827

年末年始の交通事故防止県民運動

- 運動の重点目標
- 一、飲酒運転の絶滅
 - 二、シートベルト着用の徹底
 - 三、無謀運転の追放

12月10日(土)から
 1月10日(火)まで



自転車の正しい乗り方を学ぶ子どもたち

年末年始は、交通が混雑しあわだちさも加わるうえに飲酒の機会も多くなりますので、毎年交通事故が多発しています。

このため、少しでも交通事故を減らそうと、県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会が主催し、県、県警察、市町村、県交通安全協会など多くの機関・団体が主催機関・団体となって、十二月十日から来年一月十日までの三十二日間を「平成六年度年末年始交通事故防止県民運動」として

県内の交通事故による死者は、十一月二十日現在百六人で、全国とは逆に二十一人もの大幅増となっており、十万人当たりの死者数も、死者の増加率とともに全国ワースト五位以内になって、大変厳しい情勢です。

年末年始は交通事故の多発期ですので、心を許すことなく細心の注意をすることが必要です。

運動の重点目標は、県内に発生した今年の交通事故の分析結果に基づいて決められた

て、県民総ぐるみの交通事故防止活動をすすめています。

今年の全国の交通事故による死者は、十一月二十日現在九千二百九十九人で、昨年同期より二百二十四人も減っています。

酒によって知覚が麻痺して物の識別能力や判断力が薄れ、反射神経も鈍くなると、とっさの危険回避がうまくできなくなるからです。「酒を飲んだら運転しない」「運転するなら飲まない」を実行しましょう。

シートベルトの着用率は、大事故ほど低いようです。県内の一般通行車両の着用率が六六%なのに、死亡事故では僅かに一四%強という極端な低率です。

運転する時は必ずシートベルトを着用しましょう。

無謀運転による大事故が増えています。県内死亡事故

の約三七%がスピードの出過ぎが原因です。

交通事故を起こさず、事故に巻き込まれることなく、晴やかな新春を迎えましょう。

県警が死亡事故抑止94ファイナル作戦を実施しています。

県警察では、十二月一日から三十一日までの一カ月間を「交通死亡事故抑止94ファイナル作戦」と名付けて特別対策を実施しています。

これは、いせんとして交通事故が増加傾向にあることから、毎年多発する十二月中の死亡事故を一件でも減らそうと、県警察が取り組んでいるもので、街頭活動の強化、高齢者の交通事故防止と飲酒運転の防止活動の強化を柱にしています。

元F1ドライバーの中島悟氏が「中島悟の交通危機管理術」という本を出版し、交通事故にあわなしたためのノウハウを、分かりやすく解説しています。

▽同氏はこの本の冒頭で「安全に運転するための基本は、見ることに尽きます」

「大事なのは、意識して見るということです。でも一点に集中し過ぎてはいけない」「見える範囲は、レーダーのような感覚で、まんべんなくみることで」と、見る大切さを強調しており、なるほどと考えさせられます。

▽今年四月一日本紙の「シグナル」欄で、県警交通管理調査官北村晴太郎警視が「運転するときは、車にみえるという意の『見る』でなく、気をつけてみるという意の『視る』でなければならぬ」「視野全体の要所をしっかり『みとる』ことが必要です」と提言されていたことが思い出されます。



交通安全のため
 初期の昭和四十五年
 五年に交通安全対策基本法が制定され、国や県を挙げて本格的な交通事故防止対策が実施されてから、四半世紀が過ぎました。

県下で過去最高の二百二十七人の死者が出た昭和四十四年当時は、免許人口二十万、車両台数は十四万台でしたが、現在はそれぞれ五十七万人(台)を超えていることは、ドライバーの安全意識の定着と、これまでの各種安全対策の成果であると思えます。しかし裏を返せば

現在も毎年百人もの尊い生命が奪われている現状は、大きな社会問題に違いありません。今年も既に死者が百人を超えました。死亡事故の特徴としては、

○若者による深夜・早朝の事故が多発

○シートベルトの着用率は一四%と極めて低い

○複数死者の出た自爆型事故の多発

が目立っています。

最近の事故防止対策は「交

安全チャレンジ作戦等を積極的に推進しています。

いよいよ師走を迎え「年末年始の交通事故防止県民運動」が展開されます。

十二月は忘年会等で飲酒の機会も増え、また交通も混雑し、慌ただしさを増すため例年死亡事故が多発しています。この時期にこそ、各自が危険予測の実力を発揮し、安全運転に徹することが必要です。「交通安全は家庭から」が原点です。肉親を交通事故から守るためにも、家族ぐるみの事故防止対策を立て、無事故で輝かしい新年をお迎えください。

(山梨県警視)

危険予測から
 一瀬 論

速度の加減等を慎重にすることです。

最近の安全教育も、危険予測の向上策として、参加体験型が重視されています。県でも交通体験フェアー、高齢者実践型交通安全教室、交通

▽今年九月末までに県内に発生した全交通事故の原因は、前方不注意三五%、安全不確認二%、動静不注意七%とされており、これらを合計すると六四%という大変な数になります。安全に運転するためには、意識してよく見る、ことがいかに大事かということを物語っています。

▽いよいよ師走です。毎年十二月は交通事故、特に死亡事故が増えています。自動車の運転者に限らず、歩行者も自転車利用者も、意識してよく見る、ことに徹して通行し、事故を起こさず、事故にあわず、明るい新年をお迎えください。

交通安全功労者・優良運転者

480人、21団体、1事業所表彰

優秀安協に大月・南部 優良安協は市川・上野原

管区表彰1団体、1事業所 一人 交通栄誉章緑十字銅章一一〇人

県警察本部と県交通安全協会主催の平成六年度交通安全功労者・優良運転者等の表彰式が、十一月二十九日県民会館大ホールで開催されました。表彰式には、天野建知事、古川元晴甲府地方検察庁検事正ら多数のご来賓のご出席をいただき、受賞者をはじめ交通関係機関、団体の役員等約一千人が出席して厳粛かつ盛大にとり行われました。

表彰式は、まず全員で交通安全事故による犠牲者に追悼の黙祷を捧げたのち、近石康宏県警察本部長と志村哲良県安協会長が主催者あいさつを行い、次いで表彰が行われました。受賞者は、多年にわたり交通安全防止に功績のあった交通安全功労者と団体、日ごろ交通安全活動に取り組んでおり功労のあった交通安全協会や同



県民会館大ホールでの表彰式

最後に県中学生交通安全弁論大会の優勝者道志中三年山口力穂君と準優勝の甲府南中二年田中実希さんの弁論発表があり、参加者に深い感動を与え、盛会のうちに閉会しました。

受賞者(敬称略)は次のとおりです。

○関東管区表彰

〔交通安全功労者〕
山梨県自転車軽自動車商協同組合
〔交通安全優良事業所〕
有限会社協和陸送
〔優良運転者〕
田中徳男、長田桂、飯田幹一、

矢崎金丸、長田高、瀬貞仁、村松知弘、日原今朝三、三枝時彦、小林英雄、阿部紀好

〔交通安全栄誉章「緑十字銅章」〕
〔交通安全功労者〕
難波田金造、中村佳行、岡部秀雄、横田綾子、清水武次、遠藤清巳、小林厚、望月武雄、米山幸衛、内田勝弘、厚芝邦雄、塩沢洋、河野春繁、山本義武、村松忠、五味利夫、佐野美博、歌田千英、石澤道夫、保坂静夫、山本重次郎、仲尾初利、吉田益、望月浅男、青柳宣江、飯高富久造、高野敏



熱心に聴講する県安協役員等

之、鈴木部雄、中村寿仁、鶴田定衛、窪川稔、和泉川正高、松橋勝英、石原滋、佐藤京行、天野惣明、渡辺日出男、小林政行、堀内雅彦、井上男、小関國子、奈良英雄、小俣寛米倉功

〔優良安全運転管理者〕
川村翠、小林主夫、望月義雄、伊藤水夫、伊藤直道、井上良一

〔優良運転者〕
古屋秀美男、嶋田広子、米山勝巳、中山義源、小池喜文、根津瑛、三枝秀武、北浦憲夫、名執和光、石坂正夫、横小路

眞、飯野幸、森本吉明、菊島直子、柳本孝行、星野順三、上松文男、植松一男、小池嘉仁、大木三郎、望月金孝、小川幸成、望月忠友、山本接三、松浦茂巳、村松忠昭、内藤秀雄、北条誠幸、堀内良人、高野哲郎、中村恒彦、丸山栄次郎、松沢正文、藤波敏、廣瀬さと子、占明地美代子、鈴木敦子、小俣義之、小俣武、高山明子、田辺信義、渡辺武秀、羽田長雄、渡辺正寿、天野涉、古屋俊男、斧田近照、藤取重典、岡部善文、亀井進、飯室貞昭、杉浦正、茂木洋之、清水等、天野常貴、深沢明正、柳場勇、中島久典、小松勝郎、川上久

安協活動のあり方学ぶ 講師に島田常務理事招く

県交通安全協会(志村哲良会長)では、十一月八日、甲府市内のニュー機山ホールで「平成六年度県交通安全協会役員研修会」を開催しました。研修会には、県安協理事・評議員のほか、県下各協会の

副会長等九十八人が参加し、講師としてお招きした県警交通部長古屋敏昭氏と副交通部長山崎健一氏らによる交通安全活動のあり方等についての講演を熱心に聴講しました。

島田常務理事は「交通安全協会の役割と課題」と題して約一時間四十分にとわって講演されました。

「交通安全協会は、政府をはじめ各界から交通安全ボランティア活動の中核として位置づけられている。しかし現状は安全活動のあり方に、あるいは最低の活動費の確保等々課題が多く、安協をとり巻く情勢は厳しい」としたのち、

○交通安全協会は、地域社会の期待に添った安協ならではの独自の活動を、より活発にすすめることである

○財政難の到来を目前にした今、諸経費を節約して備蓄をはかって、どんな場合でも事業にヒビを入れないと結んで、安協役員の出発点をうながしました。

このあと「安協役員に対する中央各県の評価は」「全国ネットでのテレビ広報は」等積極的な質問も出され、研修会は、よりベターな安協の明日を模索する役員熱気に包まれたなかで終了しました。

立加納小学校、塩山市多岐才会、河口湖町立船津小学校、山口建材興業(株)

〔交通安全功労者〕
樋口昭、大野良平、島田孟、宮澤秀広、山寺勉、中澤彰、市川雄造、永田武紀、武井智久、河津和司、許山治雄、市川勇造、茅野吉勝、一瀬仁志、政岡正、石原昭、遠藤政美、渡辺知和、山崎安雄、功刀敏、飯室一嗣、矢崎陽、保坂俊博、清水英、仲田咲代、内藤七一、若林正司、小林仁、横森高幸、宮坂清、小林三治、吉沢和之、大塚寿、清水克彦、島井豊、石澤道夫、松上定幸、矢野三男、石井秀男、上屋一、望月勝、望月勇、畑野高、木内健一、佐野富郎、遠藤昭、渡辺高昭、小林和子、若狭重信、相沢勝子、降矢和子、伊藤勇

副会長に八木氏(市川安協) 監事には渡辺氏(甲府安協) 県安協役員会を開催

県交通安全協会(会長志村哲良)は、九月九日、甲府市内古名屋ホテルで役員会を開催し、秋の全国交通安全運動の取り組み方や欠員となつていく役員候補等を行いました。

役員会は、先ず理事会を開いて柳沢武史副会長が勇退され空席となつた副会長に市川交通安全協会の八木吉治会長を選任、続いて評議員会

を聞き、窪田亮治監事の勇退で空席となつた監事に甲府交通安全協会の渡辺秀雄副会長を選任しました。

このあと理事・監事・評議員合同会議を開催し、新たに選任した副会長、監事等を確認したのち、

○秋の全国交通安全運動の取り組みについて

○県安協役員研修会の日程について

○その他当面の諸活動について協議し、それぞれ決定しました。

すべての議事終了後、県警古屋敏昭交通部長による講話、「当面の交通情勢について」を聴講しましたが、全員が厳しい交通情勢に思いを新たに、秋の安全運動では総力をあげて取り組むことを誓い合いました。

勇退された柳沢武史副会長(都留)には、近石警察本部長と志村哲良県安協会長からそれぞれ感謝状が贈られ、窪

体験しながら安全を学ぶ
交通安全体験フェア

九月二十五日、甲府市の小瀬スポーツ公園で、山梨県・県警察及び県安協等交通関係団体等で構成された実行委員会の主催による「交通安全体験フェア」が開催されました。約三千人がこれに参加し、大変な盛況でした。

会場内には、自分の運転適性や運転の安全性を診断する診断検査コーナー・安協が新規定導入したシートベルト着用必要性を体験認識する衝撃体験コーナー・夜間事故防止のため反射材の必要性を認識する反射材の実験・展示即売コーナー・二輪車、四輪車の正しい乗り方をこどものうちから学ばせるちびっこバイク・電気自動車等の試乗コーナー等のほか、交通事故写真や無残な姿になった交通事故車の展示やソーラーカー工作教室、白バイの試乗等も行われました。

教習所は安全運転の出発点です
—— 教習カリキュラムが変わりました ——

- 5月10日から公認教習所のカリキュラムが25年ぶりに改正され教習期間も20%位長くなりました。
- 満18歳の誕生日が近づいたら、早めに教習所においでください。
- 12月以降の入所では3月末までに卒業できないおそれがあります。
- 公認教習所で安全運転の正しいルールとマナーを身につけましょう。

詳しくは最寄りの教習所へおたずねください。

社団法人 山梨県指定自動車教習所協会 中巨摩郡八田村野牛島1828 ☎0552-85-0901

藤勝、河野東洋男、村松義因、雨宮光、窪川正隆、辻正三、深沢平重、竹居文博、佐野悦郎、村井昭三、山田芳雄、高野彦、和泉川正高、池田増雄、山本義宣、宮本文雄、佐藤忠孝、前田正男、勝保茂雄、志村清江、須山重徳、梶原増三、梶原宗行、小佐野友、小林洋一、水口彰、渡辺常、小林竹光、井上一男、天野誠一、天野涉、鈴木春雄、志村きよ子、甘利正司、森田和彦、曾根徳之輔、上條兵武、青柳勇

〔優良運転者〕
口原逸男ほか三十七人

○県安協会長表彰
〔永年勤続職員〕
有泉有文(自校)ほか二人
〔優良職員〕
藤田みゆき、細田木房、広瀬孝江、中澤澄、塚田岳夫、岩間寿子、中野栄子、古屋敏、岩本実

第36回中学生交通安全弁論大会

山口力穂君(道志中)優勝
地区代表16人が熱弁

県警察本部と県交通安全協会主催による第36回山梨県中学生交通安全弁論大会が、十月二十六日、甲府市和戸町リパース和戸で開催されました。



熱弁を振るう地区代表の中学生

大会は、県下十五地区の予選大会で優勝し、地区代表となった十六人の中学生が、持ち時間七分間で、自らの体験等を通じて見出した交通安全のための提言を熱心に訴え、審査者に強い感銘を与えました。

審査の結果「車社会と共に生きる」と題して熱弁を振るった道志中学校三年生の山口力穂君が優勝し、知事賞と優勝旗が贈られました。

- 〔優勝〕 山梨県知事賞・優勝旗 道志中三年 山口力穂
- 〔準優勝〕 山梨県議会議長賞 南中三年 田中 美希
- 山梨県警察本部長賞 泉中三年 山崎 武馬
- 山梨県教育長賞 古閑中二年 渡辺 愛美
- 〔優秀賞〕 以下出場順 香川一也(明野)、榎本雅美(明見)、斎藤洋(塩山北)、入月安奈(万沢)、数野未佳(北東)、古家浩子(小宮)、塩田三美(富竹)、宮川朋子(御坂)、清水理恵子(芦安)、久津間史和(増穂)、田村直美(山梨南)、佐々木剛(梁川)

みなさん考えてみて下さい。交通事故がどれだけ悲惨かということ。そして、今こうして普通に生活していることが、どれだけ幸せかということ。

ここ数年、山梨県内では交通事故が急増し、残念なことには今年も人口十万人あたりの死者数、死者の増加率とも、全国ワースト一となってしまいました。

車社会と共に生きる

道志中三年 山口力穂



「面倒だから」「窮屈だから」などの理由がシートベルトをしない理由のほとんどです。シートベルトにいくら事故の被害を少なくする効果があるとはいっても、これでは何の意味もありません。

二輪車指導員が熱心に受講 免許センターで 県、輪車安全運転推進委員会(酒井澄男委員長)では、十一月十九日(土)八田村の運転免許センターで高校生の原付運転講習や原付免許取得時の法定講習等で指導にあたり



指導員も初心にかえって技能訓練

苦しみ、悲しみは当事者でなければ絶対にわからないほどの苦しいものだと思います。だから、悲しい事故は減らさなければいけません。

夜の歩行者安全のために 各地区安協で反射材PR

県交通安全協会では、全日本交通安全協会が幹旋する反射材の販売を行っています。夜の安全のために反射材を利用したいという人々のために、そのご希望にかなった反射材を、いつでも、ただ一個でもおかけし、夜の交通事故の防止に役立たせていただくことを目的としています。



反射材実験装置でPR (南甲府)

南甲府交通安全協会(向井 菊蔵会長)では、甲府市内小瀬スポーツ公園で開催された九月十日(土)の「いきいき山梨ねんりんピック」と九月二十五日(日)の「交通安全体験フェア」の会場へ、反射材の展示即売所を出してPRしました。

市川交通安全協会(八木吉治会長)では、九月十一日(日)市川警察署駐車場「高齢者に反射材を贈るバザー」を開きました。

土曜日には免許の更新はできません 八田村の安全運転学校は、毎週土曜日は休みで、更新業務はしていませんのでご注意ください。

はとを 自動車を原付自転車に 必らず自賠責保険 任意の自動車保険 つけましよう。

損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階 TEL. 0552-28-0691

地区だより

秋の交通安全運動



甲府駅南口でチラシを配る安協役員（甲府）

秋の全国交通安全運動は、九月二十一日から三十日までの十日間全国一斉に行われ、県内の各地区安協でも一件でも交通事故を減らそうと、思いを込めた行事を企画し健闘されました。

その結果、期間中の県内交通事故の発生状況は、九十三件（前年同期比九件減）、死者なし（六人減）、傷者百十八人（一人増）で、死者ゼロは二十八年振りということでした。

期間中の活動の一端をご紹介します。



自転車のなまこまの手作り看板で地域の人々に呼びかける（南部・万沢支部）



高齢者夜間交通学校を開く（韮崎）



芦安村役場前で街頭指導（小笠原）



街頭指導所でチラシを配っている安協役員（南甲府・竜王）



反射材の効果を確かめる婦人部員（都留）



安全運転を呼びかける安協役員（富士吉田）



街頭指導所で待機している安協役員等（塩山）



「死亡事故消火作戦」として天然水を配って呼びかける（市川）

記念式典は県警交通部長、県安協専務理事、地元選出県議員及び長坂安協の発展に尽くされたかつての役員等多数の来賓ご臨席のもと、長坂安協役員等三百人が参加して盛大に行われました。

このなかでは記念行事として、長坂町など地域六町村民の交通安全意識を高めることに活用してもらおうと

長坂交通安全協会（興石四郎会長）では、昭和二十七年十月に安協が創立されて以来すでに四十周年を迎えていることから、十一月二十二日長坂町体育館で創立四十周年記念式典と記念行事を盛大に行いました。



街頭指導所で安全運転を呼びかける（上野原）



幼稚園児とともに交通安全パレードをする安協役員（大月）

長坂安協 安協創立40周年記念式典

記念事業としてビデオテープ等寄贈

- 各町村に交通安全ビデオテープ各一本
- 各小中学校に交通安全名人の置き傘各十本、傘立て各一個
- 各保育園、幼稚園にクラッシュグライダー
- 長寿者クラブに金一封
- 各町村安全協会に金一封

また、電光掲示板の設置基金の設立も行われました。参加した安協役員等は、四十



記念式典のはじめに交通事故犠牲者に黙祷を捧げる

年余にわたる長坂安協の歴史を振り返り、あらためて先人のご苦労を知るとともに、いつも安協の良き理解者でありあたたかいご支援を寄せられている地域の人々のご厚情をかみしめて、益々厳しさをのぞかせる交通安全の防止のために、一層の努力をしていくことを誓い合いました。

ミニ看板でシートベルト着用を指導

大月交通安全協会（山下道男会長）では、シートベルトの着用徹底を図ろうと「シートベルト着用」と書いた携帯しやすい小型看板を作成し、交差点等での立哨指導の際に携行して通過車両にこれを示し呼びかけるといった独自の指導を秋の全国交通安全運動から行っています。

安協役員が、道路を横断しようとする歩行者や自転車利用者の安全指導をするかたわら通過車両には「シートベルト着用」の小型看板を示して着用を呼びかけている姿は、ドライバーの心を動かすところとなり、早速着用するドライバーも見られるなど大変効果があがっているようです。

新規映画紹介

（運転者向け）

- 「無事故運転の知恵」ビデオ・カラー 27分
- 「追突」ビデオ・カラー 27分
- 「小型トラックの安全運転」16ミリ・ビデオ・カラー 15分
- 「軍社会の一員として」ビデオ・カラー 13分
- 「危険予知のすすめ」ビデオ・カラー 19分

（子ども向け）

- 「かくれた危険 見えない恐怖」16ミリ・ビデオ・カラー 29分
- 「無事故運転の知恵」ビデオ・カラー 27分
- 「しましまのしまじろうの交通安全」ビデオ・カラー 15分
- 「はれときどきふたりのりやすくんの交通安全」16ミリ・ビデオ・カラー 15分
- 「恐竜ポリタンの交通安全」16ミリ・ビデオ・カラー 15分
- 「チビラの自転車教室」16ミリ・ビデオ・カラー 16分
- 「この悲しみとともに」交通安全の心の叫び」16ミリ・ビデオ・カラー 30分
- 「家族そろって安全ウォッチング」16ミリ・ビデオ・カラー 25分

お知らせ

運転免許の窓口は、十二月二十九日（木）から平成七年一月三日（火）まで、休みとなりますので、更新手続きなどができません。運転免許の更新手続きは、誕生日前一月からできますので、早目にしてください。特に、年始は混雑しますので、年末のうちに手続きすることをお勧めします。

交通安全協会への加入のお願い！

交通安全諸活動を行っていくために、運転者の皆様は交通安全協会への加入をお願いします。会費は運転免許の更新をした日から次の更新の日の前日まで千五百円です。ご協力をお願いします。

交通安全協会は、交通安全の高揚と交通マナーの向上を図ることに、交通安全の明るい交通社会をつくることを目的として設立された団体です。

悲惨な交通事故を一件でも少なくするために、山梨県交通安全協会と県下の各交通安全協会は、休と休と、交通広報・啓発事業など次のような各種の交通安全活動を行っています。

- ①各季の「交通安全運動」や交通事故多発時などにおける各種広報活動や街頭宣伝活動
- ②会報等の発行、ポスター・チラシの作成、横断幕のぼり旗の掲出などによる交通安全のための啓発活動
- ③交通安全子ども自転車大会、二輪車安全運転大会や中学生交通安全弁論大会などの開催による啓発活動
- ④職場や地域などでの交通安全講習会の開催
- ⑤運転免許更新申請手続きの案内や更新講習習などへの講師の派遣など交通安全関連事業
- ⑥優良運転者や交通安全功労者・団体に対する表彰等々。

交通安全は「世界の願い」「みんなの願い」です。交通安全協会は、交通事故防止と安全確保に向けて、さまざまな活動に積極的に取り組んでまいります。交通安全協会に対する皆様方の一層のご理解とご支援をお願いいたします。



交差点でシートベルト着用を訴える（大月）

★全車種（大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許）の免許の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

★ご希望により送迎もいたします。

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828
（運転免許センター内）
TEL (0552) 85-0752

交通安全協会への加入のお願い！

交通安全諸活動を行っていくために、運転者の皆様は交通安全協会への加入をお願いします。会費は運転免許の更新をした日から次の更新の日の前日まで千五百円です。ご協力をお願いします。

交通安全協会は、交通安全の高揚と交通マナーの向上を図ることに、交通安全の明るい交通社会をつくることを目的として設立された団体です。

悲惨な交通事故を一件でも少なくするために、山梨県交通安全協会と県下の各交通安全協会は、休と休と、交通広報・啓発事業など次のような各種の交通安全活動を行っています。

- ①各季の「交通安全運動」や交通事故多発時などにおける各種広報活動や街頭宣伝活動
- ②会報等の発行、ポスター・チラシの作成、横断幕のぼり旗の掲出などによる交通安全のための啓発活動
- ③交通安全子ども自転車大会、二輪車安全運転大会や中学生交通安全弁論大会などの開催による啓発活動
- ④職場や地域などでの交通安全講習会の開催
- ⑤運転免許更新申請手続きの案内や更新講習習などへの講師の派遣など交通安全関連事業
- ⑥優良運転者や交通安全功労者・団体に対する表彰等々。

交通安全は「世界の願い」「みんなの願い」です。交通安全協会は、交通事故防止と安全確保に向けて、さまざまな活動に積極的に取り組んでまいります。交通安全協会に対する皆様方の一層のご理解とご支援をお願いいたします。